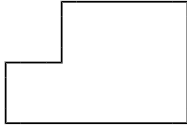
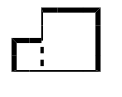
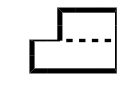

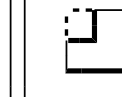
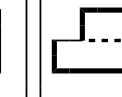
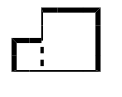
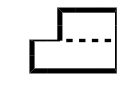

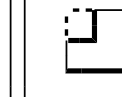
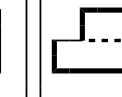
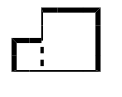
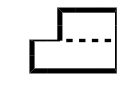

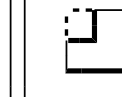
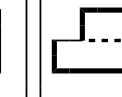

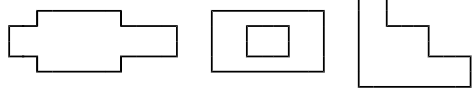


4年 チャレンジコース

5 本時（6時間目）の学習指導

(1) 目標 複合図形の面積を既習の簡単な形に分割、補完、移動しながら、公式を用いることよさに気付き、求めることができる。
友達の考えた図と式からその求め方を推測し、話し合うことを通して共通点に気付くことができる。

(2) 学習指導過程

学習活動	相	予想される児童の反応	教師の支援等 課題解決能力 見見通し 共感性															
<p>1 提示された図形を見て、学習課題を設定する。</p> 	つかむ	<div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;">複雑な形だな。</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;">長さが分かっていないな。</div> </div> <div style="display: flex; justify-content: space-around; margin-top: 10px;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;">前に習った長方形に置き換えられないかな。</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;">長さを測ればいいんだ。でも、どこの辺の長さを測ればいいのか。</div> </div>	<p>見 既習事項を手がかりに見通しをもつように、日ごろから指導しておく。</p> <ul style="list-style-type: none"> 既習の長方形なら簡単に解けることを確認するため、また、長さが必要なことを押さえるために、辺の長さを記入していない長方形の求積問題を出題する。 <p>課 辺の長さを記入していない複合図形を提示して、気付いたことを発表し合いながら、学習課題を児童で設定できるようにする。</p> <ul style="list-style-type: none"> 児童たちが設定した課題が不十分であれば、教師の願いを付け加える。 <p>見 課題解決に向けて、推論し合う時間を設定する。</p>															
<p>2 面積の求め方を考える</p> <p>(1) 必要な辺の長さを見つける。</p>	つくる	<div style="border: 1px dashed black; padding: 10px; text-align: center;">必要な辺の長さを見つけて、面積を求めよう。</div>	<ul style="list-style-type: none"> 一つの方法で解決できた場合、どうすればよいかを問い、他の方法を試してみることを活動前に確認しておく。 5年生で学習する三角形や平行四辺形の面積につなげられるよう、移動して求めることができる児童の考えをとり上げる。 話し合いをスムーズにし、次時に生かすことができるように、求め方に名前をつけておく。 															
<p>(2) 面積を求める。</p>		<table border="1" style="width: 100%; text-align: center;"> <tr> <td style="font-size: small;">たて分け式</td> <td style="font-size: small;">横分け式</td> <td style="font-size: small;">たて横分け式</td> <td style="font-size: small;">つけ引き式</td> <td style="font-size: small;">移動式</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>$3 \times 2 + 6 \times 5$</td> <td>$3 \times 7 + 3 \times 5$</td> <td>$3 \times 2 + 3 \times 5 \times 2$</td> <td>$6 \times 7 - 3 \times 2$</td> <td>$3 \times (7 + 5)$</td> </tr> </table>	たて分け式	横分け式	たて横分け式	つけ引き式	移動式						$3 \times 2 + 6 \times 5$	$3 \times 7 + 3 \times 5$	$3 \times 2 + 3 \times 5 \times 2$	$6 \times 7 - 3 \times 2$	$3 \times (7 + 5)$	<p>共 話し合いを通して、どの考え方にも共通しているところや他の複合図形にも適用するかどうかを目を向けるよう助言する。</p> <p>評 複合図形の面積は、長方形に分け、面積の公式を用いて求めればよいことに気付き、求めることができたか。</p>
たて分け式	横分け式	たて横分け式	つけ引き式	移動式														
																		
$3 \times 2 + 6 \times 5$	$3 \times 7 + 3 \times 5$	$3 \times 2 + 3 \times 5 \times 2$	$6 \times 7 - 3 \times 2$	$3 \times (7 + 5)$														
<p>3 求め方について話し合う。</p> <p>(1) 友達の考えを推測して、説明する。</p>	確かめる	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <ul style="list-style-type: none"> 測った辺の数は、どれもたてが2本、横が2本だ。 どの考え方も長方形をもとにして考え、分けて足したり、全体から引いたり、移動したりして求めている。 だったら、他の複合図形も同じように考えれば求められるかな。確かめてみたいな。よし、確かめてみよう。 他の複合図形も長方形をもとにすれば、求められたよ。 </div>	<p>(ノート・発言)</p> <ul style="list-style-type: none"> 本時、児童が見つけたことが、もっと多くの複合図形にあてはまるかどうかを、次時に確かめることを予告し、いくつかの複合図形を提示する。 															
<p>4 他の図形の面積を求める。</p> 	ふりかえる	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <ul style="list-style-type: none"> 複雑な図形も、長方形に分けたり、大きな長方形から引いたり、移動して長方形にしたりすれば、求められる。 公式を使えば、簡単に面積が求められる。 次の時間にもっといろいろな図形で確かめてみよう。 </div>																
<p>5 本時の学習を振り返り、次時の学習内容を知る。</p>																		